

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【尾間木小学校】

⑥	次年度への課題と改善策	
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

①	目標・策	
	目標	策
知識・技能	令和4年度のさいたま市学習状況調査の各学年の結果では、各教科とも、市の平均と同程度か、上回る結果であった。ただ、苦手とする分野も見られるので、今後は昨年度の学校平均より正答率を高くする。	⇒ 本校の学校研究課題である「対話を重視した学習」を追求し、学び合いの中から自ら課題をつかみ、理解を深めていく授業展開を工夫していく。また、ICTを活用しつつ、基礎・基本の習熟の時間を確保する。
思考・判断・表現	上記と同様、市の平均と同程度か、上回る結果であった。特に高学年の結果がよかった。これまでの取り組みで効果があったと考えられる「振り返りの活動」を今後とも取り入れていくことで全国平均を上回る。	⇒ 各学級において「振り返り活動」を実施する。また、自分の思いや考えを積極的に表現し、活用できるような題材や、ICTを活用した話し合い活動の導入を工夫する。
主体的に学習に取り組む態度	全国・学力学習状況調査の質問項目「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に対して、肯定的な回答が全国平均を超えるようにする。	⇒ 家庭学習の在り方や時間、内容等について、校内で議論・共通理解し、家庭にも周知する。また、持ち物の準備等について、児童が自分で行うことができるように、家庭と連携して指導していく。

<小6・中3> (4月~5月)

⑤	目標・策の達成状況	評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当)	
思考・判断・表現	③分析共有(児童生徒の姿把握) 職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

②	全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校と全国学力・学習状況調査の平均正答率の差と比較し、国語+6.4pt、数学+3ptであった。国語では、今年は情報の扱い方に関する問題が入ってきたが、理解している児童が多く見られた。算数では、データの活用正答率の平均値が昨年より+1.6ptとなった。	
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査「学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し次の学習につなげることができるか」の質問項目の肯定的な回答の割合は92.2%と高かった。引き続き、学校で統一した「ふり返りの書き方」を活用して授業改善に努める。	
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目の肯定的な回答の割合は、全国平均を10.7%上回り、目標に達することができた。より一層、子ども主体の学びとなるよう授業改善や、児童への家庭学習の喚起、家庭への呼びかけに努める。	

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4		
小5		小6		

③	中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」に関わる領域において、R4年度の自校の結果より正答率を向上させる。	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査では「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができるか」を加えた質問項目で、肯定的な回答の割合を昨年度よりも向上させる。	⇒ 毎時間の学習において、「振り返り活動」を実施し、学習の成果や次時への課題を確認して、学習に対して主体的に取り組むことができるようにする。